

# 全国青年部第27回定期総会



建交労全国青年部は 2025 年 12 月 6 日 (土) ~7 日 (日)、東京・全日自労会館にて第 27 回定期総会を開催し、オンラインを含め 26 名の青年が参加しました。1 日目は学習会・交流会をおこない、全国から集まった青年たちと交流を深め、2 日目に 2025 年度の方針と体制を確立しました。

## 1日目(12/6) 学習会

### “最低生計費”ってなんだろう？

1 日目の前半は、講師として静岡県立大学短期大学部准教授の中澤秀一先生にお越しいただき、「最低生計費調査とは～エビデンスに基づく要求の意義～」という演題で講演をしていただきました。

かつては「普通・当たり前」と思われていた生活（例えば『クレヨンしんちゃん』野原ひろしの年収など）が、今ではそうではなくなっていること、それを元に戻す・よりよくするために、“最低生計費試算調査”などの化学的根拠に基づいて社会的な運動を進めていくことが有効である、ということを分かりやすく教えていただきました。



▲中澤 秀一 先生(なかしゅうさん)



「最低生計費試算調査」とは

「持ち物調査」「生活実態調査」「価格調査」や各指標、合意形成会議により、  
「最低生計費(普通の生活を送るために必要な費用)」を算出する調査のこと。

## “生活賃金シミュレーション”をやってみよう！

1日目の後半は、中澤先生の講演をふまえ、グループワークとして生活賃金シミュレーションを行いました。

まずはグループに割り当てられた項目（食費、交際費、娯楽など）について、必要な品目やその値段を考え、「1ヶ月生活するのに必要な金額」を算出しました。「冠婚葬祭の費用は、重なると想定金額に収まらない」「掃除機はこだわらないけど、シャツのしわ伸ばしのため電気アイロンにはお金をかけたい」「ゲーム機より、音楽や映像などの定額制コンテンツが必要」など、それぞれのグループで活発な議論がされました。

最後はそれぞれの項目を合計し、月額の最低生計費を算出してみると、月150時間に換算した場合時給1,900円程度は必要になるとの結果が出ました。



▲自分の生活の実態なども交えながら自由に議論。どこも盛り上がっていました！



## 夕食交流会（ピザパーティ）



▲講師の中澤先生も、買い出しからピザパーティまでご参加いただきました！

bingoの景品は、各地からのご当地土産。景品ゲットおめでとう～(\*^~\*)▶

グループワークの後は、みんなでピザパーティ！生地やトッピングなど、グループごとにピザメニューを決め、飲み物やお惣菜などはみんなでスーパーへ買い出しに。自己紹介のあとはbingo大会も開催し、いつもとは違う雰囲気で楽しく交流することができました。



## 2日目(12/7) 総会

2日目の総会では、議長に青年部委員の近藤結女さんと宝福午臣さんが選出され、部長の武田喜成さんより「私たち青年が楽しく活発に運動にとりくむことが、要求の前進に大きな力を發揮すると感じる。労働者の権利を求める運動を大きく広げていこう」とあいさつをいただきました。続いて来賓としてご出席いただいた全労連青年部書記次長の太田健太さんのあいさつでは、「自由な活動ができることが青年部の醍醐味だと思う。要求の前進には情熱が不可欠。熱い情熱をもって運動を突き上げる力が、青年部にはある」とお話しいただきました。

続いて、委員の内田知也さんから2024年度の活動報告と2025年度の運動方針案が提案され、副部長の山内理恵さんから2024年度の会計報告と2025年度の予算案が提案されました。



▲全労連青年部書記次長  
国公・青年フォーラム委員長  
太田 健太 さん

## 全体討論

全体討論では 14 名の方から発言をいただきました。各地の青年部での活動や職場の状況、今回の総会の感想など活発な討論がされました。



北海道・春田 美羽さん  
「北海道青年部で青年・中年学習交流会を開催した。平和行進に参加するなど、とても学びの多い交流会になった」



長崎・内田 知也さん  
「九州支部には青年部はないが、若い専従が多い。部会の学習会等で各地を回るので、全国の青年と交流をしていきたい」



千葉・鈴木 美夏さん  
「要求アンケートの内容が今回の学習会の生計費の部分と被るところもあり、とても分かりやすく楽しく学習できた」



千葉・盛 直嗣さん  
「学習会は、春闘に向けて、これだけ生活費がかかるという根拠になると、とても勉強になった。交流会もすごく楽しかった」



福岡・原 大樹さん  
「福岡の青年部再開は苦戦中。福岡支部の2025春闘では、すべての分会が1万円の目標を超える妥結を勝ち取った」



愛知・古里 和真さん  
「労職は専門的な知識が求められるため、学習内容が非常に多い。ウェブも活用しながら学習活動に努めている」



長野・山本 想良さん  
「初めて参加したが、とても楽しかった。学童保育支部松本分会では、自分も含めて今年新しく3名組合加入した」



愛知・立石 央さん  
「学童保育支部の青年部では、学習会や交流会を行っている。今年はキャンプやボードゲーム交流会などを行った」



東京・秋山 岱保さん  
「現在JRはどんどんコスト削減、安全軽視という方向に向かっている。鉄道を守ることがJRの使命だが、金儲けに走っている」



関西支部・山本翔太さん  
「青年部総会参加3年目だが、今までと違う感じで楽しかった。学習会・グループワークも分かりやすかった」



東京・伊藤 大地さん  
「せっかくこうして全国から集まっているので、総会前日にでも宣伝行動などをしてはどうか。組合を知ってもらうことが大事」



島根・平井 唯哲さん  
「次年度、もう一つ事業団を作ろうと考えている。生活困窮者を受け入れて事業をしており、島根では人が増えている状況」



福島・橋本 直孝さん

「ダンプは、夜も寝ず、夙も働き、皆さんのために道路を作っている。福島では青年部を準備中。活動をよりよく共にしていきたい」



近物・萩原 亘さん

「トラック運転手のため、休みの調整が難しく、これまで参加できなかったが、今回勉強会、交流会などとても楽しかった」

## 2025年度役員

### ■部長

武田 喜成【広島ダンプ支部】

### ■副部長

秋山 哉保【鉄道東京地方本部】

神原 一行【関西支部】

### ■事務局長

山内 理恵【東京・中部一般支部】(新)

### ■委員

内田 知也【九州支部長崎分会】

近藤 結女【愛知学童保育支部】

春田 美羽【旭川支部】(新)

※函館支部の宝福午臣さんは、また来年度、青年部委員として帰ってくる予定です

続く役員提案では、新たに青年部委員として旭川支部の春田美羽さんが選出されました。提案はすべて全体の拍手で可決されました。「みんな集え！学ぼう、笑おう、語り合おう！最低賃金大幅引き上げ実現へ！～青年部から平和の架け橋を～」のスローガンのもと、今年も楽しく青年部を盛り上げていきましょう！



## 参加者のみなさんの感想より

- ・今回初めての参加で学習会も楽しくできました。いろいろな職種の方々とも話せて良かったです。
- ・最低生計費調査の話を聞いて、改めて自分の最低限の生活に必要な金額を意識する機会が出来て良かったです。
- ・20代の生計費が思った以上に高くて、時給が追いかけていないことが勉強になった。
- ・最低賃金について学ぶ機会が今までなかったので、今回学べてよかったです。
- ・「普通がぜいたくになる」失われた30年というものを「野原ひろし」という視点から感じることができた。次の交渉時、「社員が生きるための費用」をどのように考えているのか問うていきたい。
- ・今後はエリアでまとまって年何回か宣伝活動をしていったらよいかと感じました。
- ・学習会では、最低賃金引き上げの重要性を再確認しました。交流会では大切な仲間と一致団結し、楽しい宴になりました。
- ・生計費調査で出た金額が自分の給料よりも高くて驚きました。生活水準を落として生きるのは生きづらいと思います。(全体討論では)たくさんの人々に発言をいただきすごくよかったです。発言が多いとやりがいを感じました。
- ・生活賃金、最低生計費学習は、今後の春闘での目標・根拠になるので、とても勉強になった。交流会はとにかく楽しかった。
- ・他県の活動について知見を深めることができた。
- ・今回の学習会では、グループワークを通して普段何となく使っているお金にも目的や必要性がはっきりあることを再確認できました。人によって使い方が全く違うことも分かり、生活実態に合わせて賃金を考える大切さを実感しました。全体討論では多くの方々の話を聞いてとても勉強になりました。これからは視野を広げ、様々な業種の問題や活動にも興味をもっていきたいと思います。
- ・交流会はホームパーティのような感覚でわいわいやれて、楽しく交流ができました。また、各支部・青年部の活動報告を聞き、改めて労働組合はもちろん青年部の重要性を感じました。
- ・ピザパーティもスーパーへの買い出しも、今までにない提案で面白かった。

